

高齢者施設の服薬管理について ～ 現状と課題 ～

資料3



すみれ薬局 宿毛店
古居 正通

すみれ薬局 宿毛店

薬剤師：6名 事務：6名

宿毛市内を中心として四万十市、愛南町等の
病院、診療所の処方箋に対応

整形外科、内科(消、循、神内)、外科、眼科、
耳鼻咽喉科、精神科、小児科、透析等に関連
する医薬品(GE含む)を在庫

服薬管理の課題把握と改善に向けた 取り組み

【目 的】

高齢者施設での服薬管理に関する
課題を把握し、利用者の安全な
服薬と施設スタッフの
業務軽減をめざす。



服薬管理の課題把握と改善に向けた 取り組み

【日 時】

- ・ 令和8年3月25日 11時～12時30分

【参加者】

- ・ 施設職員：施設管理者（看護師）1名
- ・ 幡多福祉保健所：職員2名
- ・ すみれ薬局宿毛店：管理薬剤師1名

服薬管理の課題把握と改善に向けた 取り組み

【課 題】

- ①薬剤の変更・追加・減量等があった際、職員間で周知が出来ていない時がある
- ②薬剤変更時などにより残薬ができた時の対応
- ③往診時間が遅くなることが多く、薬の配達
が翌日になる。

訪問した高齢者施設について

施設名	概要	薬を準備する時間帯
A施設 グループホーム	・利用者人数:9名 ・職員数:7名 ・4交代制	夜勤帯に1日分の薬の準備をする
B施設 有料老人ホーム	・利用者数:15名 ・職員数:11名 ・3交代制	
C施設 有料老人ホーム	・利用者数:20名 ・職員数:7名 ・4交代制	

施設での薬の管理方法

施設名	薬の管理方法
A 施設	 お薬カレンダーに 患者ごとにセット
B 施設	 患者ごとにボックス を作成しセット
C 施設	 服用時間ごとに ボックスを作成し セット

当薬局での調剤方法

施設名	調剤方法	
A施設	1錠でも氏名・用法を印字して分包	縦割り一包化 
B施設		横割り一包化 
C施設		縦割り一包化 

配達時間：14時～17時の間に薬剤師が行う

2026年5月現在

施設利用者の受診について

施設名			受診状況
A	施	設	・訪問診療(F病院):7名 ・通院:2名
B	施	設	・訪問診療(E病院・F病院):13名 ・通院:2名
C	施	設	・訪問診療(E病院・F病院):19名 ・通院:1名

訪問診療について

《E病院》

- 往診時間：午前中
- 処方箋FAX時間：～15時までにくる

《F病院》

- 往診時間：決まっていない。午後が多い
- 処方箋FAX時間：16時以降が多い
→ 配達が翌日になることが多い

服薬管理の課題把握と改善に向けた 取り組み

【課 題】

- ①薬剤の変更・追加・減量等があった際、職員間で周知が出来ていない時がある
- ②薬剤変更時などにより残薬ができた時の対応
- ③往診時間が遅くなることが多く、
薬の配達が翌日になる



【①薬剤の変更・追加・減量等があった時、職員間周知が出来ていない時がある】

★薬袋・薬剤情報提供書に変更点を記載する

1日1回 28日分
夕食後に
お飲みください
錠剤 1回1包

ワ-ファリン
3T → 3.5T ①
ゆう

裏面もお読み下さい
すみれ薬局 宿毛店
宿毛市駅前町2丁目704番地
TEL 0880-62-0093
FAX 0880-62-0092

薬剤師
調剤済
8.6.01
岡添美奈

00346 2026年06月01日

一般名:ホ-ア-サ-ンソ-ル酸塩錠 薬価は91.6円です ◆後発医薬品は存在しません	10mg タケキャブ	8.4日分 (1日分 1錠)	
ワ-ファリン錠 1mg 白の錠剤です	ワ-ファリン 10mg	3.5 分1 夕食後	血液を固まりにくくする薬です。 服用期間中、セイヨウオトギリソウ含有食品は避けてください。
3 256 256:1 一般名:ワ-ルファ-リンK錠 薬価は10.8円です ◆後発医薬品は存在しません	ワ-ファリン 10mg	8.4日分 (1日分 3.5錠)	服用期間中、飲酒は避けてください。 自己判断で用量の変更や服用の中止をせず、指示通りに服用してください。
3T → 3.5T ①	3T → 3.5T ①	①	手術や抜歯をする場合、事前に医師にお知らせください。
ヒルドイドソフト軟膏0.3% 白の軟膏剤です	ヒルドイドソフト軟膏0.3%	1日数回 体に塗布	血液の流れをよくし、痛みを和らげる薬です。
4 一般名:ヘパ-リン類似物質軟膏 薬価は17.7円です ◆後発医薬品はヘパ-リン類似物	ヒルドイドソフト軟膏0.3%	1調剤 (1調剤 12.5g)	ケロイドの症状を改善する薬です。 皮膚の水分を保ち、保湿する薬です。 潰瘍やびらん面には使用しないでください。

【薬剤変更などにより残薬ができた時の対応】

★配達時などに薬剤師が残薬の有無を確認し、あれば持ち帰って残薬調整できるものは調整する。



【往診時間が遅くなることが多く、薬の配達
が翌日になる 】

★当日必要な薬があれば、病院・薬局に
相談する。

普段から連携を取り、相談しやすい
関係を作ることが大切。



【対策後】

★処方変更の内容が分かりやすくなった。

★薬局での残薬調整により、薬の管理が
しやすくなった。



【まとめ】

- ★高齢者施設での服薬管理は、施設
・ 病院 ・ 薬局の連携が重要。

ご清聴ありがとうございました。

